

Summit



「火山と砂防に関する現地防災学習教室」
が開催されました！

2008年11月15日発行

■編集・発行

北海道火山防災サミット実行委員会2008

十勝岳地方実行委員会

■事務局

NPO法人環境防災総合政策研究機構

〒060-0001

札幌市中央区北1条西8丁目2-39

日宝大通ビル8F

Tel. (011)271-2663

No. 1

美瑛町と上富良野町の小学生と一緒に 十勝岳について学びました



雄大な景色や自然の恵みを求めてたくさんの人が訪れる十勝岳。ふもとに住む小学生が、恵みをもたらす十勝岳の歴史と噴火について学びました。

今年は、1988-89年噴火から20年にあたるため、「北海道火山防災サミット2008 in 十勝岳」の一環として実施されました。

2町の子どもたちが交流する初めての学習教室となりました。

Volcanic Disaster Reduction Summit 2008 in Tokachidake SUMMIT NEWS LETTER

プログラム

美瑛小		上富良野西小	
9:00～8:55	【十勝岳の恵みを学ぶ】		
	●美瑛の丘見学	●火砕流台地見学	
9:20	【噴火の仕組みと観測について学ぶ】		十勝岳火山 砂防情報 センター
	●コーラを使った噴火実験		
	●牛乳で火砕流実験		
	●赤外熱映像装置		
9:45	【火山の恵みと噴火避難を学ぶ】		徒歩
	●避難シェルター		
	●白ひげの滝		
10:00	【まちを守るしくみを学ぶ】		バス車内
	●十勝岳流路工		
10:15	【十勝岳の歴史を学ぶ】		望岳台
	●火砕流堆積物・炭化木		
12:00	解 散		

日 時

平成20年9月25日(木)

8:30～12:00

参加人数

●美瑛小学校

児童41名、教員4名

●上富良野西小学校

児童25名、教員2名

●その他 実行委員会から 25名

計95名

十勝岳の恵み



堆積物に含まれる軽石や火山灰、石英の結晶などを観察しました。

十勝岳のふもとに広がる美しい丘陵地は、大昔の火山噴火でできたものです。



避難シェルター



十勝岳噴火の避難に利用するシェルターを体験しました。噴火時には上の階段(286段)を全員で下りました。

十勝岳の歴史



望岳台では、十勝岳連峰の生い立ちや噴火の歴史についてお話を聞きました。

そして、10分ほど登ったところで、約3000年前の噴火の跡を見学しました。

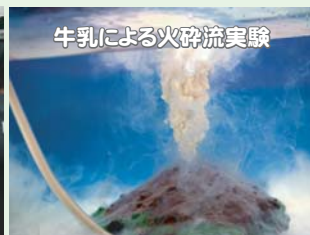


「炭化木」火砕流で蒸し焼きになり炭化した木片。

噴火の仕組みと観測



コーラを使った噴火実験



牛乳による火砕流実験



実験の様子



赤外線観測装置

コーラや牛乳を使った実験や、赤外線観測装置で、噴火の仕組みと観測方法を学びました。

Volcanic Disaster Reduction Summit 2008 in Tokachidake SUMMIT NEWS LETTER

子どもたちの交流



今回は、美瑛町と上富良野町の子どもたちが初めて一緒に学びました。最初に、クラス代表と先生が自己紹介をして、握手を交わしました。その後、学校混合班で見学や実験を行いました。



望岳台では、両校交流のセレモニーを行いました。

十勝岳のパネルを、美瑛町と上富良野町子どもがそれぞれに持ち、合体させて美しい景色を完成させました。



十勝岳のふもとに住む子どもたちが集いました。町の名前は違ってもふるさとの山は同じです。新しい友達の思い出が十勝岳について考えるきっかけになればと思います。